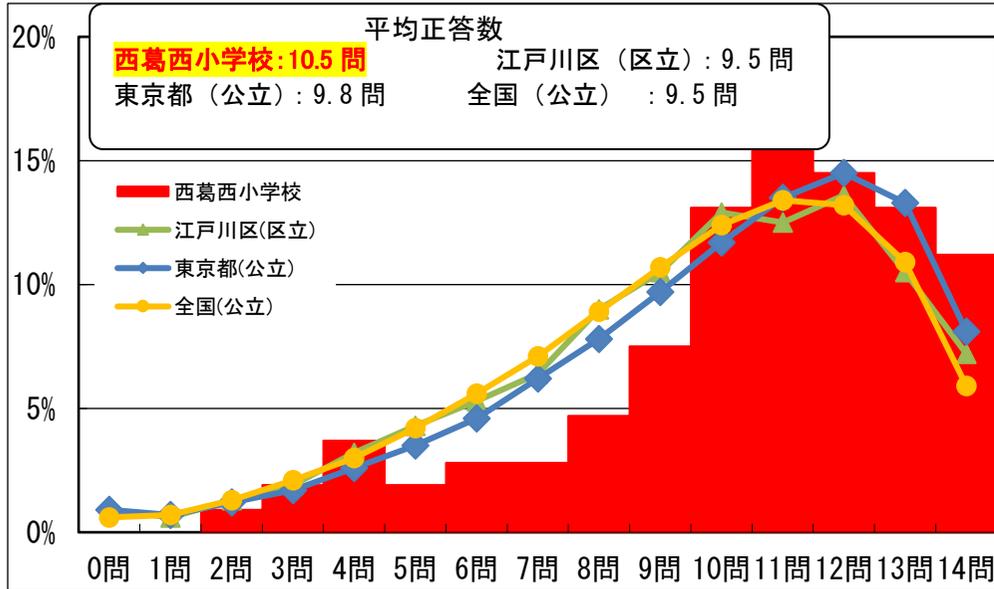


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】西葛西小学校

## 正答数分布



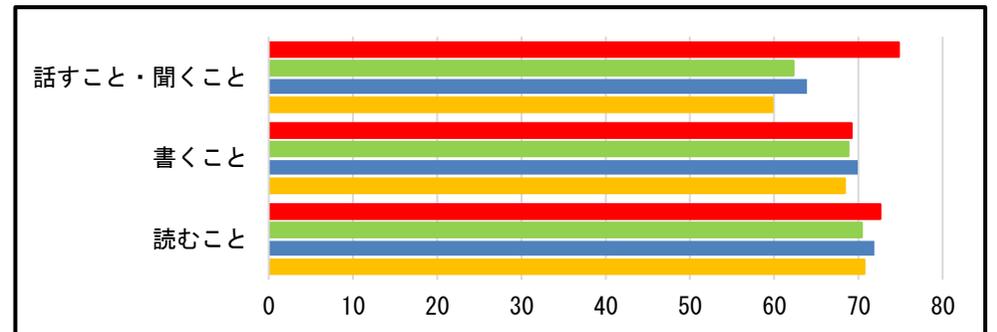
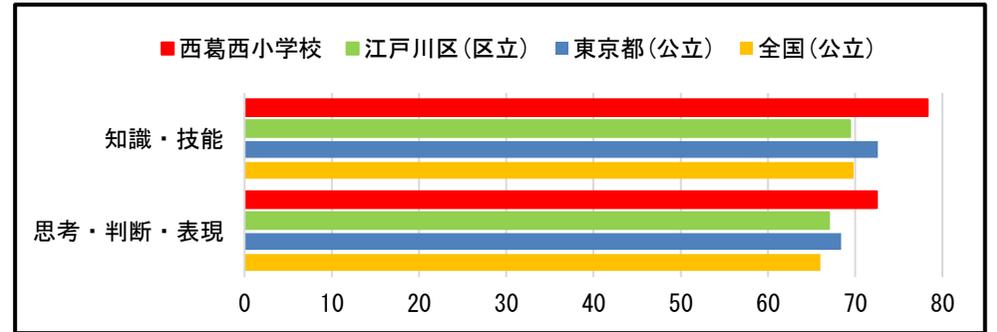
### <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
<b>西葛西小学校</b>	<b>42.9</b>	<b>30.8</b>	<b>12.1</b>	<b>14</b>
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

<b>西葛西小学校</b>	<b>75%</b>
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	<b>5ポイント</b>

%

### 【分析結果と授業改善に向けて】

- ・ A層群もB層群も全国平均や都平均を大きく上回り、基礎的学力が定着していると言える。5年生からは教科担任制を取り入れ、「読む」こと以外にも「書く」活動を重視し、学んだことを実践的に使えるよう指導してきた。
- ・ 読書量については、4年生から計画的に「読書科」に取り組み、読解力の向上に努めてきた成果が「読むこと」に現れているといえる。
- ・ 算数科と比べて、D層の割合が多い。国語科で培われる力はすべての教科に必要な基礎学力であるので、今後、読書・音読・漢字練習に一層力をいれ、D層の減少に努める。